

トントントン。カンカンカン。
心地よい生活音が市内に響き渡る。

日々、5万9千人が暮らす
宇城市。

私たちのまち、宇城市には
県や市の天然記念物に指定されている

三角町の「郡浦の天神樟」や

小川町の「小川阿蘇神社の樟」、

豊野町の「浄水寺跡の無患子」などの貴重な自然

デコポンやシヨウガ、洋ランなど豊富な特産品

郷土の誇りとしてたたえられる

昭和の農聖松田喜一や日本の「女性史」に金字塔を
打ち立てた高群逸枝など17人の名誉市民

さらには名勝「不知火」、

世界文化遺産「三角西港」など全国に誇れるものが
数多く存在する。

しかし、これらは市内にある魅力のほんの一部。

176の行政区を見渡せば、

まだみんなに知られていない

ひょっとしたら地元の人でさえも気付いていない
魅力にあふれているはず。

今は、新型コロナウイルスの影響で自粛ムード。

けれど、この時期だからこそ、私たちが宇城市の
魅力を再発見できるはず。

コロナから解放され、観光客が戻ってきた時に

まちの歴史や市内の面白い話を伝えることが
できるように。

自信を持って紹介できる場所・人・モノ。

それらを自分も探して好きになって
紹介できるように。

今回の特集では、

まちを歩いて出会った人々に

”私のイチオシ“を自慢してもらいました。

それでは、早速地元の人お薦め”わがまち自慢“
を通じて「まち」とそこに住む「人々」の魅力に
迫ってみましょう。

特集 コロナで自粛ムードの今だからこそ、地元のネタを掘り起こそう

私たちのまちネタ **うき** uki komi **コミ**

2 小川町の日岳より撮影

10・11ページに特集で紹介する場所の
地図があります